

オススメどっぴり高知旅コンテスト 概要

1 実施目的

- 「どっぴり高知旅キャンペーン」についての県内での理解促進と参加機運の醸成及び対象となる観光素材の見える化
- キャンペーンの盛り上げ及び県内外への情報の拡散

2 全体像

- (1)観光協会・広域観光協議会・市町村向け（令和5年度中に実施）
 - (2)一般の県民の皆様向け（令和6年度上半期を予定）
 - (3)県外からの旅行者向け（令和6年度下半期を予定）
- の3段階で実施。

※コンテストの結果はポスター作成等プロモーション活動に活用（詳細は4（3）参照）

※以下、上記（1）の実施概要を記載

3 募集する素材等

地元ならではのひととの触れ合いや体験、心からの息抜きなど、県外からの旅行者がどっぴりとハマる（じっくり、たっぷり過ごしたくなる、何度も訪れたくなる）ことにつながるような旅の過ごし方（必ずしも商品化されていなくてもOK（下の具体例参照））

- ※1市町村での応募上限を7素材とし、広域観光組織も最大7素材応募可能とする
（例：東部エリア 9市町村×7素材+7素材=70素材が上限）
（県全体で最大280素材）

【対象となる素材（うち商品化されていないもの）の具体例】

- ①学び型／歴史、食文化、伝統文化を学ぶ旅
例：元漁師が自らのトンデモ体験を語ってくれる海鮮飲食店
- ②自然体験型／高知の大自然や草花を思いっきり楽しむ旅
例：人を喜ばせるのと交流を楽しみにご夫婦が開設した無料あじさい園
- ③産業観光型／地元産業に触れる旅
例：漁の後の天日干しを気軽に見せてくれる直販付きのちりめん漁師
- ④住民ふれあい型／地元住民に触れて、高知が心のふるさとになる旅
例：昔ながらの土佐弁バリバリのお年寄りがつどうお遍路接待所
- ⑤暮らしに触れる型／地元の人が通うオススメ旅
例：地元民がモーニングに足繁く通う、名物おかみがいる喫茶店
- ⑥人・魅力型／個性豊かな事業者のファンになる旅
例：体験後にその場所で作ったお茶を生産者が提供するジップライン
- ⑦その他／上記以外でどっぴりといえる要素のある過ごし方
例：降雨後でもほとんど濁らない最高の透明度の川原でチェアリング

4 審査方法等

(1) 審査員による書類審査

外部の審査員による審査で各広域エリアの上位3素材を選定
(県全体で21素材)

(2) 各地域によるプレゼン審査

(2) で選定した3素材について、地域の方が審査員にプレゼンを実施。審査員の合議に基づいて各エリアの1位を決定

(3) エリアで選定された3素材の活用方法

- ・各エリアの1位はポスター制作
- ・公式HPでの取り上げ
- ・キャンペーンスタート時の広報

※選定された3素材以外にも適宜プロモーションに活用させていただきます。

5 審査基準

- | |
|--------------------------------|
| ①観光客の興味、関心を引くことが期待できる |
| ②観光客の満足度向上が期待できる |
| ③観光客の参加のハードルが低い |
| ④地域の活性化につながることを期待できる |
| ⑤地域に対する理解促進や愛着心向上につながることを期待できる |

6 スケジュール

12月5日	市町村、観光協会等への通知文発出
2月中旬	コンテスト応募締め切り
3月初旬～中旬	審査
3月末 or 4月1日	結果発表
4月から	ポスター制作等プロモーションに活用